

# 平成 22 年 国 勢 調 査

## － 移動人口の男女・年齢等集計結果 －

平成22年国勢調査では、5年前の常住地（5年前に居住していた場所）の調査が行われ、移動人口の集計はその集計結果です。移動人口の集計は大規模調査（10年ごと実施）で行われます。なお、平成22年調査から5歳未満の者についても、ふだん住んでいた場所を調査しています。

### 1 人口移動状況

#### (1) 概況

##### 移動率は全国値を上回る24.0%

・平成22年国勢調査における神戸市人口（1,544,200人）のうち移動人口は337,164人で人口に占める割合（移動率）は24.0%\*であった。（平成22年国勢調査期日に生まれていなかった5歳未満については、出生後ふだん住んでいた場所による。）全国では総人口（128,057,352人）のうち移動人口は27,230,588人で移動率は22.8%\*であり、神戸市は全国を上回る移動率であった。

\*神戸市人口（1,544,200人）から5年前の常住地が「不詳」の者（141,002人）を除いて算出。

総人口（128,057,352人）から5年前の常住地が「不詳」の者（8,387,624人）を除いて算出。

・移動人口を5年前の常住地別に見ると、自区内が130,160人（9.3%）と最も高く、他県81,615人（5.8%）、市内他区71,186人（5.1%）、県内他市町47,173人（3.4%）、国外7,030人（0.5%）となっている。

**表 1-1 5年前の常住地別人口（平成22年）**

5年前の常住地	人口 1)		割合 2)	
	神戸市	全国	神戸市	全国
総数 3)	1,544,200	128,057,352		
現住所	1,066,034	92,439,140	76.0	77.2
現住所以外（移動人口）	337,164	27,230,588	24.0	22.8
自市内 4)	201,346	13,698,880	14.3	11.4
自区内 5)	130,160	11,952,673	9.3	10.0
自市内他区	71,186	1,746,207	5.1	1.5
市外からの転入	135,818	13,531,708	9.7	11.3
県内他市町から	47,173	6,088,330	3.4	5.1
他県から	81,615	6,862,317	5.8	5.7
国外から	7,030	581,061	0.5	0.5

1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

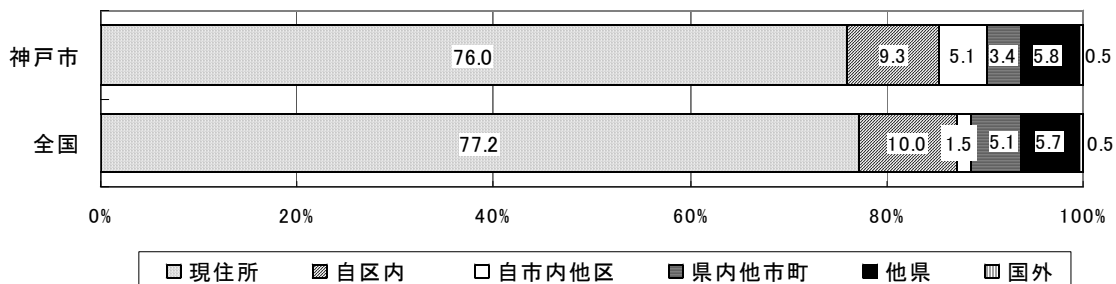
2) 不詳を除いて算出。

3) 5年前の常住地「不詳」で当地に現住している者を含む。

4) 全国は自市区町村内と自市内他区の合計である。

5) 全国は自市区町村内である。

**図 1-1 5年前の常住地別人口の割合(平成22年)**



・平成12年と比較するために5歳以上人口でみると、平成22年の神戸市の移動率は24.2%となっており、12年と比べると13.9ポイント下降している。※

全国でみると平成22年の移動率は22.8%となり、12年と比べると5.3ポイント下降している。

※ 平成12年は、震災後仮設住宅居住者の移動により人口の移動が顕著に表れたと思われる。

表1-2 5年前の常住地別 5歳以上人口（平成2年，12年，22年）

5年前の常住地	人 口						割 合 1)					
	神 戸 市			全 国			神 戸 市			全 国		
	平成2年	平成12年	平成22年	平成2年	平成12年	平成22年	平成2年	平成12年	平成22年	平成2年	平成12年	平成22年
総数 2)	1,392,087	1,427,590	1,467,976	116,791,913	120,793,184	121,784,181						
現住所	966,348	884,078	1,019,902	87,266,001	86,819,021	88,497,877	69.4	61.9	75.8	74.7	71.9	77.2
現住所以外（移動人口）	425,330	543,486	325,371	29,507,115	33,973,151	26,181,867	30.6	38.1	24.2	25.3	28.1	22.8
自市内 3)	246,071	366,080	193,433	12,918,597	17,102,933	13,088,216	17.7	25.6	14.4	11.1	14.2	11.4
自区内 4)	132,729	235,444	124,633	11,073,095	15,136,823	11,396,838	9.5	16.5	9.3	9.5	12.5	9.9
自市内他区	113,342	130,636	68,800	1,845,502	1,966,110	1,691,378	8.1	9.2	5.1	1.6	1.6	1.5
市外からの転入	179,259	177,406	131,938	16,588,518	16,870,218	13,093,651	12.9	12.4	9.8	14.2	14.0	11.4
県内他市町から	68,307	66,198	45,609	7,307,004	7,857,604	5,858,650	4.9	4.6	3.4	6.3	6.5	5.1
他県から	105,581	103,944	79,522	8,889,160	8,389,386	6,669,385	7.6	7.3	5.9	7.6	6.9	5.8
国外から	5,371	7,264	6,807	392,354	623,228	565,616	0.4	0.5	0.5	0.3	0.5	0.5

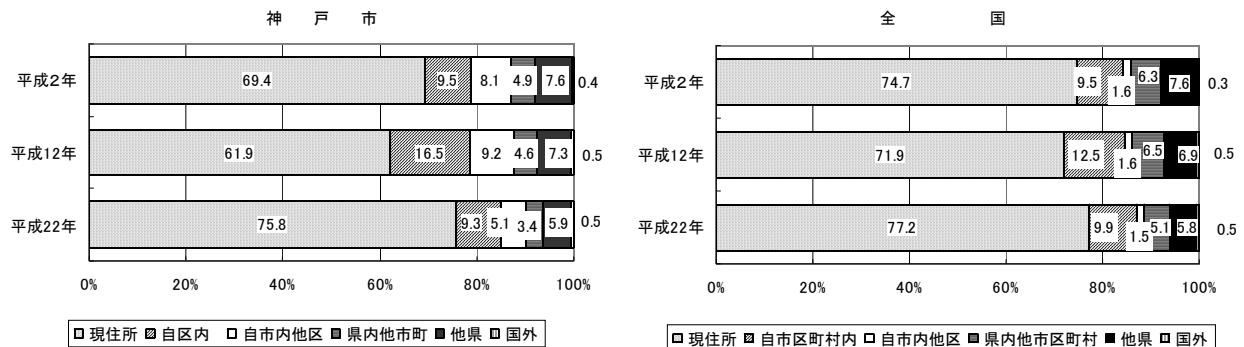
1) 不詳を除いて算出。

2) 5年前の常住地「不詳」で当地に現住している者を含む。

3) 全国は自市区町村内と自市内他区の合計である。

4) 全国は自市区町村内である。

図1-2 5歳以上人口の5年前の常住地別割合（平成2年，12年，22年）

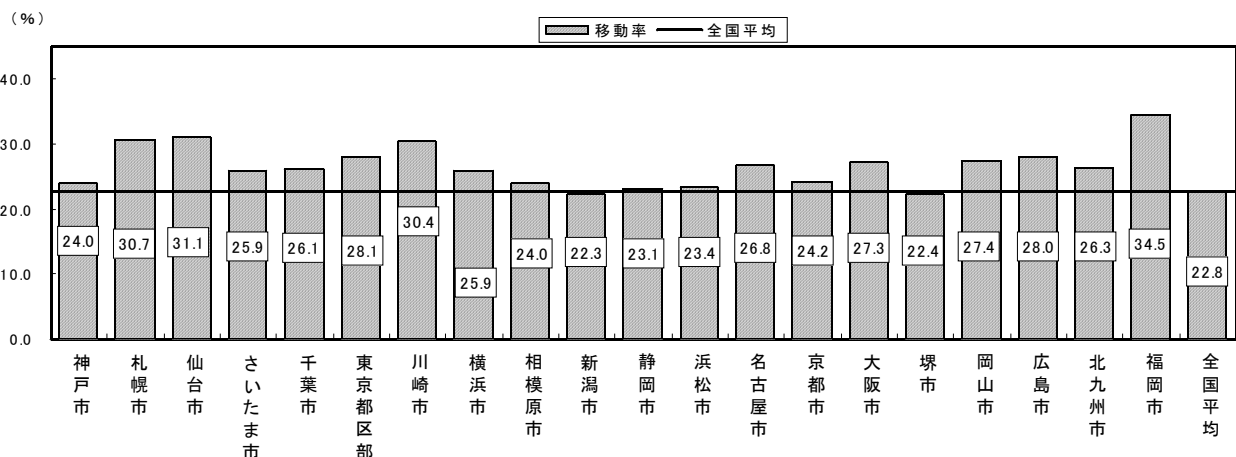


## (2) 大都市比較

### 全国20大都市中16番目

全国の20大都市で比較すると、移動率が最も高いのは福岡市の34.5%で、最も低いのは新潟市の22.3%であった。神戸市の移動率は24.0%で16番目であった。堺市と新潟市を除く全ての大都市において全国平均を上回っている。

図2 大都市の移動率（平成22年）



移動の内訳をみると、神戸市を含め18都市が移動人口の構成比のなかで自区内の占める割合が1番大きい。一方、さいたま市と川崎市は他県からの転入の割合が自区内を上回っている。

自区内、他県からの転入、市内他区からの転入、県内他市町村からの転入、国外からの転入の順序となっているのが1番多いパターンであり神戸市を含め13都市が該当する。

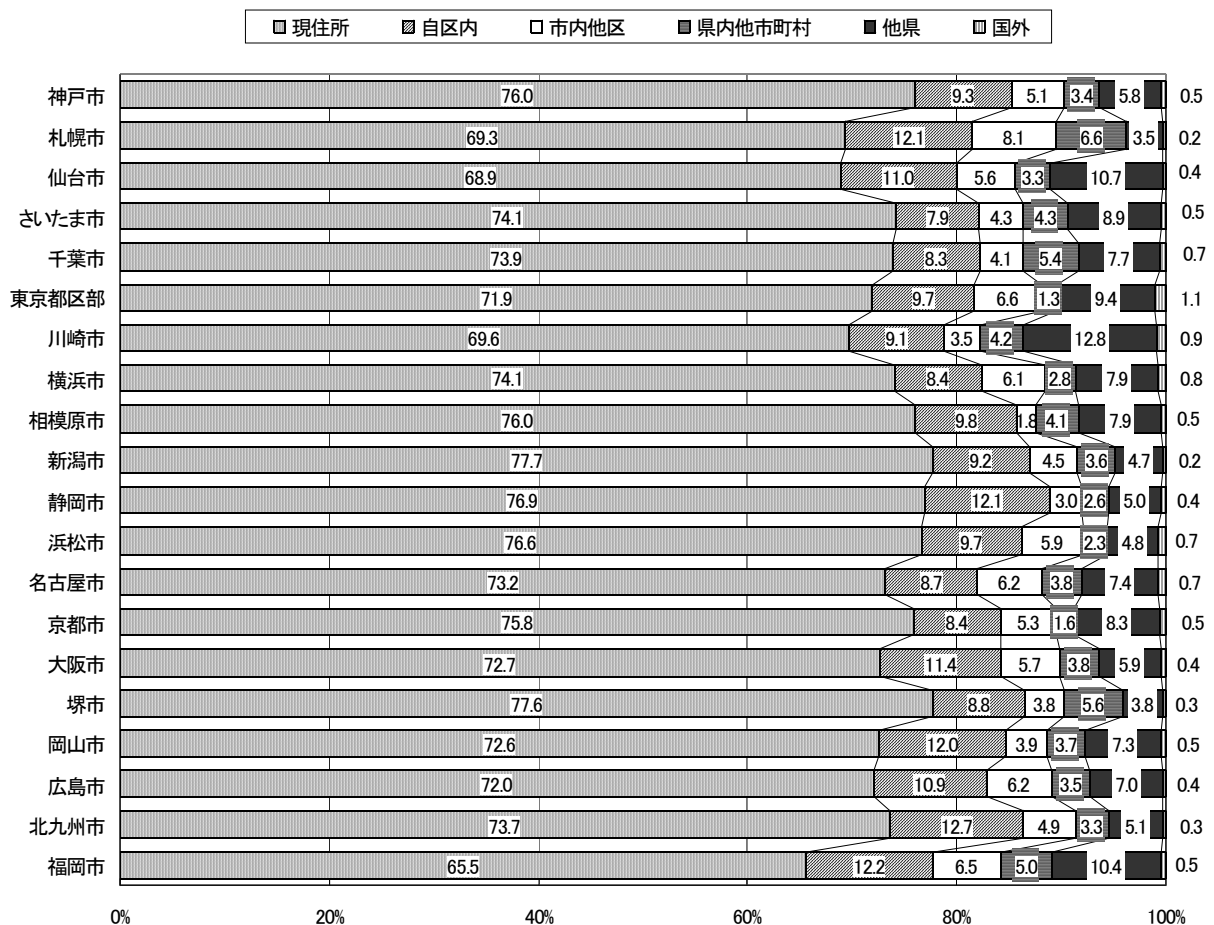
表2 大都市の5年前の常住地別人口（平成22年）

都市	総数 1)	現住所	現住所以外（移動人口）						
			総数	自市内で移動		県内他市町村 から転入	他県から 転入	国外から 転入	
				総数	自区内 で移動				市内他区 から転入
神戸市	1,544,200	1,066,034	337,164	201,346	130,160	71,186	47,173	81,615	7,030
札幌市	1,913,545	1,206,477	533,823	352,583	211,266	141,317	115,594	61,630	4,016
仙台市	1,045,986	659,241	297,551	159,610	105,664	53,946	31,694	102,799	3,448
さいたま市	1,222,434	841,596	293,729	138,355	89,834	48,521	48,902	100,514	5,958
千葉市	961,749	632,150	223,010	105,649	70,611	35,038	46,192	65,492	5,677
東京都区部	8,945,695	5,031,925	1,964,178	1,140,831	680,973	459,858	88,158	655,847	79,342
川崎市	1,425,512	819,114	357,999	148,318	107,416	40,902	49,089	150,485	10,107
横浜市	3,688,773	2,500,086	874,867	486,497	282,199	204,298	95,914	266,310	26,146
相模原市	717,544	491,458	155,489	75,091	63,316	11,775	26,270	51,094	3,034
新潟市	811,901	617,704	177,027	109,224	73,073	36,151	28,934	37,036	1,833
静岡市	716,197	531,098	159,267	104,117	83,261	20,856	17,804	34,690	2,656
浜松市	800,866	592,962	181,277	120,319	74,796	45,523	17,924	37,246	5,788
名古屋市	2,263,894	1,481,577	542,410	301,862	175,413	126,449	77,437	148,846	14,265
京都市	1,474,015	986,812	314,632	178,354	109,651	68,703	21,067	108,138	7,073
大阪市	2,665,314	1,624,621	608,837	382,812	254,711	128,101	84,973	131,704	9,348
堺市	841,966	597,389	172,112	97,375	68,029	29,346	42,912	29,605	2,220
岡山市	709,584	500,389	188,909	110,138	82,990	27,148	25,171	50,104	3,496
広島市	1,173,843	794,668	308,688	188,845	120,199	68,646	39,161	76,723	3,959
北九州市	976,846	687,581	245,937	164,773	118,587	46,186	30,626	47,433	3,105
福岡市	1,463,743	833,477	438,994	237,488	155,231	82,257	63,235	131,742	6,529

5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。

1) 5年前の常住地「不詳」で当地に現住している者を含む。

図3 大都市別 5年前の常住地別割合（平成22年）



(3) 年齢別

移動率は30～34歳がピーク

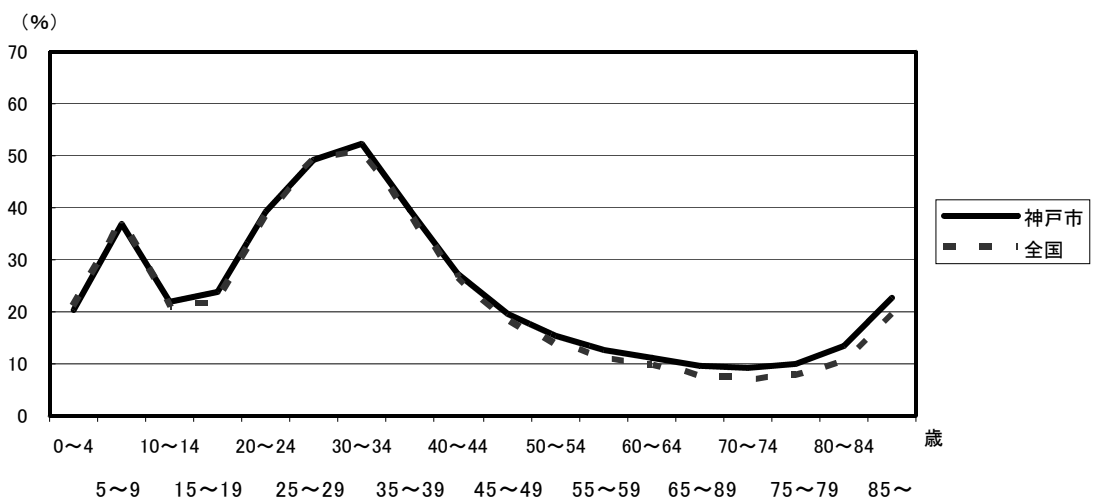
年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合をみると30～34歳が52.5%と最も高く、次いで25～29歳が49.1%、35～39歳が39.5%、20～24歳が39.3%となっている。一方、70～74歳が9.3%と最も低く、次いで65～69歳が9.5%、75～79歳が10.1%となっており、70歳代後半以降、移動率は再び上昇している。また、全国でも同様の傾向となっている。

表3 年齢（5歳階級）、5年前の常住地別割合（平成22年）

年齢	神戸市					全国				
	現住所	現住所以外 (移動率)	神戸市			現住所	現住所以外 (移動率)	全国		
			うち 自市内	うち 県内 他市町	うち 他県, 国外			うち 自市内 2)	うち 県内他 市町村	うち 他県, 国外
総数	76.0	24.0	14.3	3.4	6.3	77.2	22.8	11.4	5.1	6.2
0～4歳 1)	79.6	20.4	13.7	2.7	4.0	79.0	21.0	12.2	4.6	4.2
5～9	63.1	36.9	24.2	4.9	7.8	63.2	36.8	21.7	7.7	7.4
10～14	78.2	21.8	14.7	2.1	5.0	79.2	20.8	13.3	3.2	4.3
15～19	76.1	23.9	11.9	3.1	8.9	78.1	21.9	9.8	4.5	7.6
20～24	60.7	39.3	13.0	6.0	20.2	61.6	38.4	10.5	8.6	19.2
25～29	50.9	49.1	24.3	7.8	17.0	50.4	49.6	18.9	13.0	17.7
30～34	47.5	52.5	30.3	8.9	13.2	49.2	50.8	23.5	13.7	13.6
35～39	60.5	39.5	24.2	6.1	9.2	61.4	38.6	19.7	9.2	9.7
40～44	72.9	27.1	16.6	3.6	6.9	73.5	26.5	14.0	5.4	7.1
45～49	80.5	19.5	12.4	2.3	4.7	81.8	18.2	9.8	3.5	4.9
50～54	84.7	15.3	10.0	1.7	3.5	86.1	13.9	7.4	2.9	3.6
55～59	87.1	12.9	8.7	1.5	2.7	88.7	11.3	6.2	2.4	2.7
60～64	88.8	11.2	7.7	1.3	2.1	90.3	9.7	5.6	2.0	2.2
65～69	90.5	9.5	7.0	1.1	1.3	92.1	7.9	4.9	1.5	1.5
70～74	90.7	9.3	7.0	1.1	1.2	93.0	7.0	4.6	1.3	1.1
75～79	89.9	10.1	7.6	1.3	1.3	92.5	7.5	5.0	1.5	1.1
80～84	86.5	13.5	9.9	1.7	1.8	89.6	10.4	7.0	2.1	1.3
85歳以上	77.5	22.5	17.4	2.8	2.4	80.3	19.7	14.1	3.9	1.8
不詳	80.7	19.3	13.6	0.3	5.4	76.6	23.4	14.6	2.2	6.6

1) 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。  
 2) 自市区町村内と自市内他区の合計である。  
 不詳を除いて算出。

図4 5歳階級別移動率の推移(平成22年)



## ほとんどの世代で自市内での移動割合が多い

次に、年齢別に移動の内訳をみてる。ほとんどの世代において自市内での移動の割合が高いが、20～24歳では他県、国外からの転入が自市内の移動割合を上回っている。全国でも同様である。

図5-1 5歳階級、5年前の常住地別割合(神戸市)

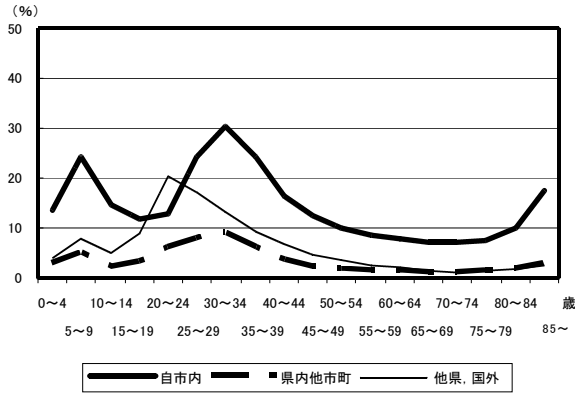
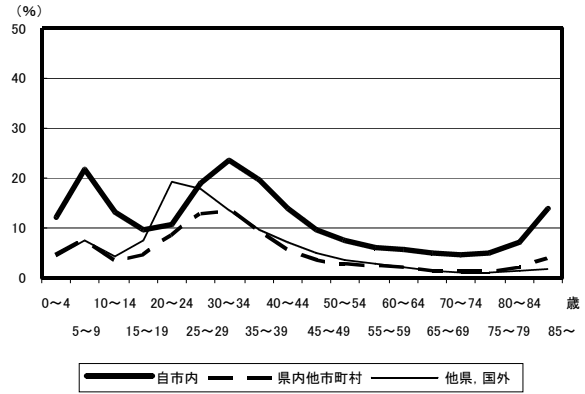


図5-2 5歳階級、5年前の常住地別割合(全国)



### (4) 男女別

#### 移動人口の割合は30～34歳が男女とも最も多い

移動人口を男女別にみると、男性は159,981人、女性は177,183人と女性の方が多いが、移動率はそれぞれ24.5%、23.7%と男性の方が高くなっている。0～34歳までは、ほぼ同様の割合だが35～64歳までは男性の割合が高くなっている。65～74歳までは男女ともほぼ同様の割合になり、75歳を過ぎると女性の割合が高くなっている。

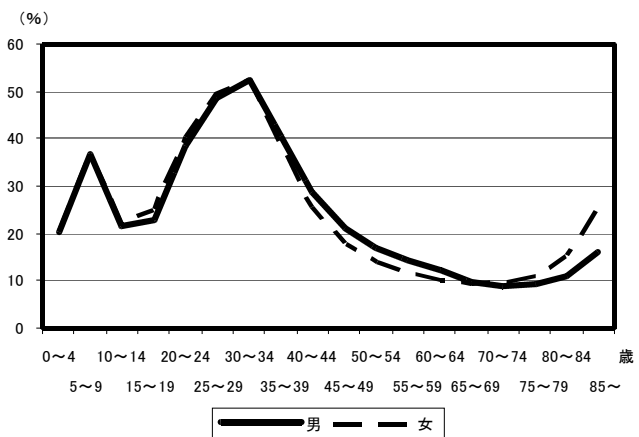
移動率を年代別にみると、男女とも30～34歳がそれぞれ52.6%、52.4%と最も高い。男性では、次いで25～29歳で48.7%、35～39歳で40.7%となっており、女性では25～29歳で49.5%、20～24歳で40.2%となっている。

表4 年齢(5歳階級)、男女別人口の移動割合(平成22年)

(単位: %)		
年齢	男	女
総数	24.5	23.7
0～4歳 <sup>1)</sup>	20.4	20.3
5～9	36.8	36.9
10～14	21.7	22.0
15～19	22.8	25.0
20～24	38.2	40.2
25～29	48.7	49.5
30～34	52.6	52.4
35～39	40.7	38.5
40～44	28.9	25.5
45～49	21.2	18.0
50～54	17.0	13.8
55～59	14.2	11.7
60～64	12.3	10.2
65～69	9.7	9.3
70～74	8.9	9.7
75～79	9.2	10.8
80～84	10.8	15.1
85歳以上	16.2	25.0
不詳	16.4	22.7

<sup>1)</sup> 5歳未満については、出生後にふだん住んでいた場所による。不詳を除いて算出。

図6 5歳階級別移動率の推移(平成22年)



## 2 市外との転出入の状況

### (1) 転入

東日本からの割合が最も大きい

表5 相手地域別 転入状況 (平成22年)

5年前の常住地		実数	割合 (%)
総	数	135,818	100.0
近	畿	77,083	56.8
近	隣地	36,484	26.9
	阪神間6市 <sup>a)</sup>	16,711	12.3
	うち西宮市	6,923	5.1
	東播臨海部 <sup>b)</sup>	14,661	10.8
	うち明石市	9,885	7.3
	三木, 小野, 三田	5,112	3.8
	兵庫県下(近隣地以外) <sup>c)</sup>	10,689	7.9
	大阪府	19,492	14.4
	その他近畿	10,418	7.7
東	日本	27,858	20.5
北	海道, 東北	2,487	1.8
関	東	16,028	11.8
中	部	9,343	6.9
西	日本	23,847	17.6
中	国	10,405	7.7
四	国	6,347	4.7
九	州	7,095	5.2
国	外	7,030	5.2

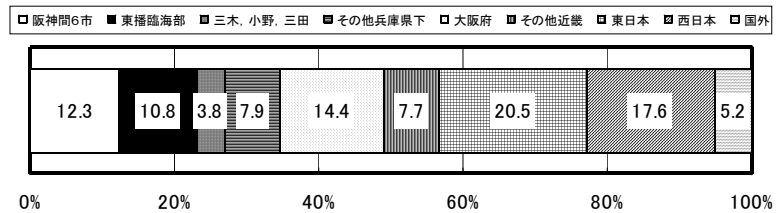
a) 尼崎市, 西宮市, 芦屋市, 伊丹市, 宝塚市, 川西市

b) 明石市, 加古川市, 高砂市, 稲美町, 播磨町

c) 5年前の常住地が県内で, 5年前の常住市区町不詳を含む。

移動人口のうち市外からの転入は, 135,818人であった。5年前の常住地別にその内訳をみると, 東日本27,858人(市外からの転入者全体に占める割合20.5%)が最も多く, 西日本23,847人(同17.6%), 大阪府19,492人(同14.4%), 阪神間6市16,711人(同12.3%)と続いている。

図7 転入者の相手地域別割合(平成22年)



注) その他兵庫県下には5年前の常住地が県内で, 5年前の常住市区町「不詳」を含む。

### (2) 転出

東日本への割合が最も大きい

表6 相手地域別 転出状況 (平成22年)

5年前の常住地		実数	割合 (%)
総	数	120,693	100.0
近	畿	69,359	57.5
近	隣地	36,459	30.2
	阪神間6市 <sup>a)</sup>	18,802	15.6
	うち西宮市	8,497	7.0
	東播臨海部 <sup>b)</sup>	13,401	11.1
	うち明石市	9,214	7.6
	三木, 小野, 三田	4,256	3.5
	兵庫県下(近隣地以外)	7,304	6.1
	大阪府	16,826	13.9
	その他近畿	8,770	7.3
東	日本	33,518	27.8
北	海道, 東北	2,051	1.7
関	東	22,181	18.4
中	部	9,286	7.7
西	日本	17,816	14.8
中	国	7,696	6.4
四	国	4,095	3.4
九	州	6,025	5.0
国	外	...	...

a) 尼崎市, 西宮市, 芦屋市, 伊丹市, 宝塚市, 川西市

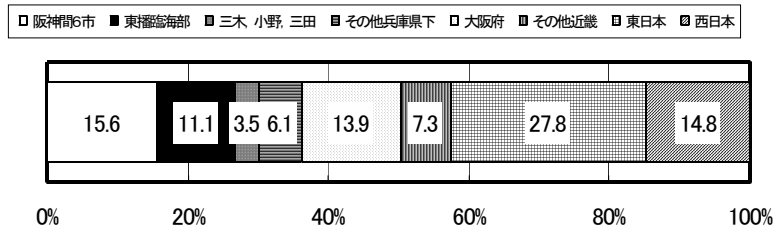
b) 明石市, 加古川市, 高砂市, 稲美町, 播磨町

国外への転出を除く。

5年前の常住地が神戸市だった人のうち, 市外への転出は120,693人であった。

転出者を平成22年10月1日の現住所別にその内訳を見ると, 東日本33,518人(市外への転出者全体に占める割合27.8%)が最も多く, 阪神間6市18,802人(同15.6%), 西日本17,816人(同14.8%), 大阪府16,826人(同13.9%)と続いている。

図8 転出者の相手地域別割合(平成22年)



注) 国外への転出を除く。

### 3 区別の状況

#### (1) 移動状況

##### 中央区、灘区、東灘区、兵庫区の移動率が高い

移動人口が最も多いのは東灘区の52,269人で、西区50,297人、垂水区46,875人と続いている。移動率が最も高いのは中央区の32.8%で、灘区29.4%、東灘区27.5%、兵庫区26.4%と続いている。

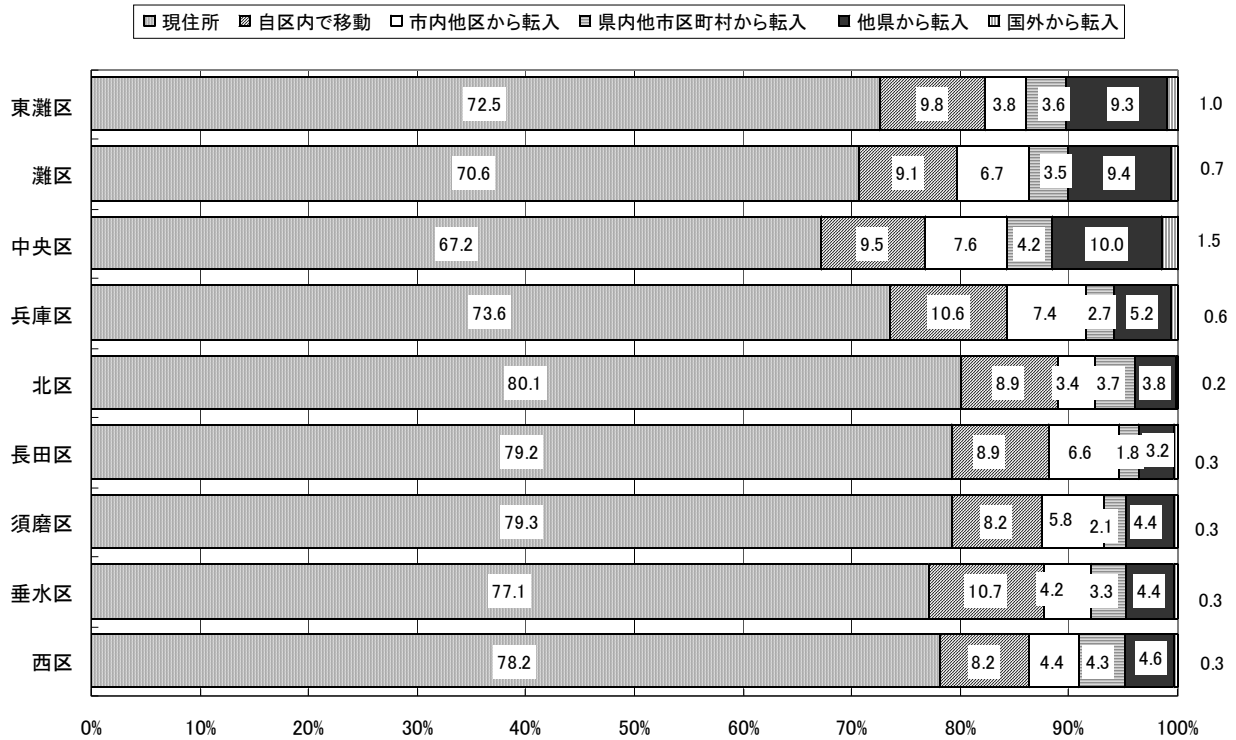
移動人口の内訳を見ると、自区内での移動率が高い。灘区、中央区では他県からの転入が自区内での移動を上回っている。

表7 5年前の常住地別人口（平成22年）

5年前の常住地	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
総数 1)	210,408	133,451	126,393	108,304	226,836	101,624	167,475	220,411	249,298
現住所	137,700	83,712	68,575	69,720	172,782	72,567	123,470	157,566	179,942
現住所以外（移動人口）	52,269	34,940	33,463	25,016	42,933	19,056	32,315	46,875	50,297
自区内で移動	18,684	10,834	9,707	10,024	19,210	8,168	12,762	21,814	18,957
市内他区から	7,212	7,993	7,747	6,973	7,289	6,041	9,011	8,688	10,232
県内他市町から	6,856	4,147	4,275	2,532	7,882	1,616	3,213	6,759	9,893
他県から	17,679	11,178	10,197	4,916	8,110	2,972	6,909	9,061	10,593
国外から	1,838	788	1,537	571	442	259	420	553	622
移動率 2)	27.5	29.4	32.8	26.4	19.9	20.8	20.7	22.9	21.8

5歳未満については出生後ふだん住んでいた場所による。  
 1) 5年前の常住地「不詳」で当地に現住している者を含む。  
 2) 不詳を除いて算出。

図9 区別、5年前の常住地別割合（平成22年）



## (2) 市外からの転入状況

### 東灘区が最も多い

市外からの転入状況を見ると、東灘区の26,373人が最も多く、西区、北区、垂水区と続いている。最も少ないのは長田区の4,847人であった。

相手地域別に転入状況を見てみると、どの区においても東日本、西日本の占める割合が大きい。

他区と比べると、東灘区は阪神間6市、国外、中央区は国外、北区は阪神間6市、三木、小野、三田、垂水区、西区は東播臨海部からの転入数が多い。

表8 区別相手地域別 転入状況（平成22年）

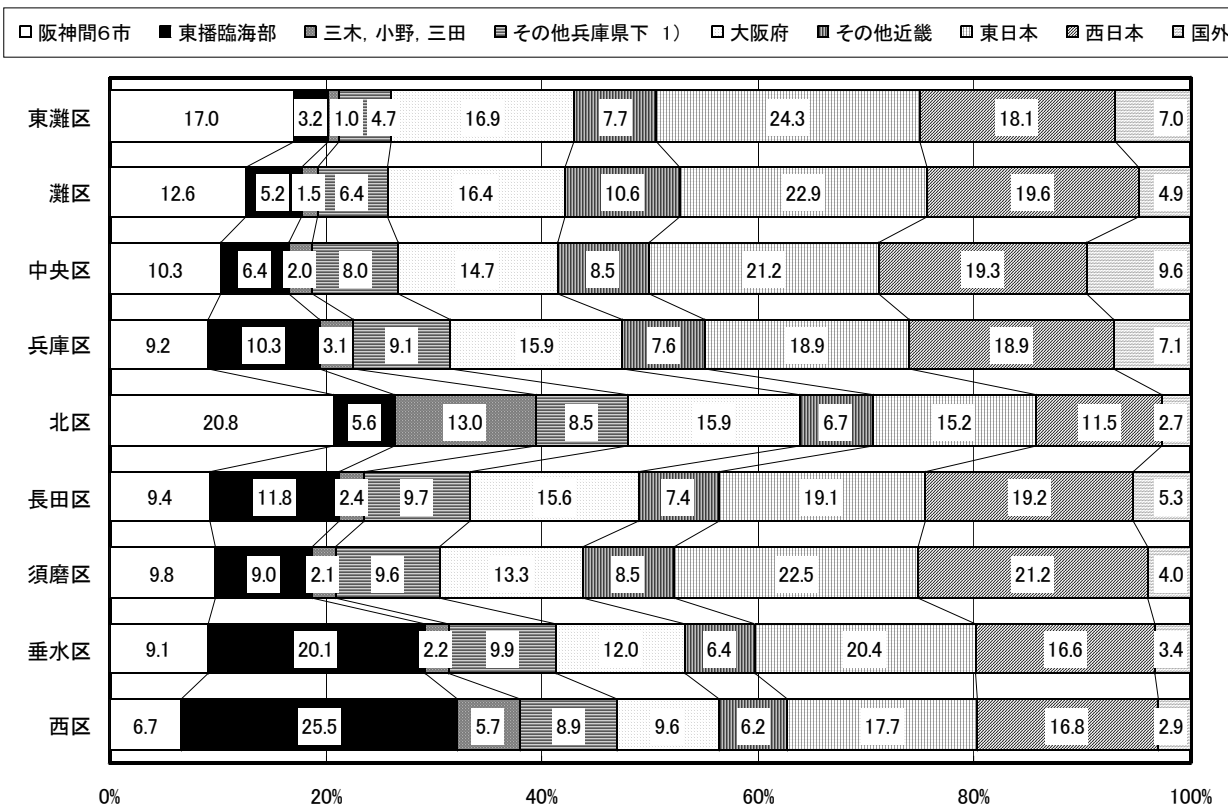
5年前の常住地	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
総数	26,373	16,113	16,009	8,019	16,434	4,847	10,542	16,373	21,108
阪神間6市 a)	4,495	2,038	1,641	734	3,419	454	1,029	1,489	1,412
うち西宮市	1,784	826	717	289	1,540	169	418	645	535
東播臨海部 b)	849	832	1,023	826	927	574	948	3,289	5,393
うち明石市	476	472	631	450	558	352	633	2,323	3,990
三木、小野、三田	274	239	328	245	2,136	117	220	353	1,200
兵庫県下（近隣地以外） c)	1,238	1,038	1,283	727	1,400	471	1,016	1,628	1,888
大阪府	4,451	2,638	2,356	1,275	2,621	757	1,403	1,966	2,025
その他近畿	2,036	1,702	1,368	612	1,096	358	899	1,048	1,299
東日本	6,410	3,685	3,391	1,515	2,497	924	2,369	3,334	3,733
西日本	4,782	3,153	3,082	1,514	1,896	933	2,238	2,713	3,536
国外	1,838	788	1,537	571	442	259	420	553	622

a) 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市

b) 明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

c) 5年前の常住地が県内で、5年前の常住市区町不詳を含む。

図10 区別転入者の相手地域別割合（平成22年）



1) その他兵庫県下には5年前の常住地が県内で、5年前の常住市区町「不詳」を含む。



### (3) 市外への転出状況

#### 東灘区が最も多い

市外への転出状況を見ると、東灘区の23,240人が最も多く、西区、北区、垂水区と続いている。最も少ないのは長田区の4,675人であった。

転出をみると、全ての区において東日本、西日本、大阪府への転出の占める割合が大きく、5割を超えている。

他区と比べてみると東灘区は阪神間6市、北区は三木、小野、三田、垂水区、西区は東播臨海部への転出数が多い。

表9 区別相手地域別 転出状況（平成22年）

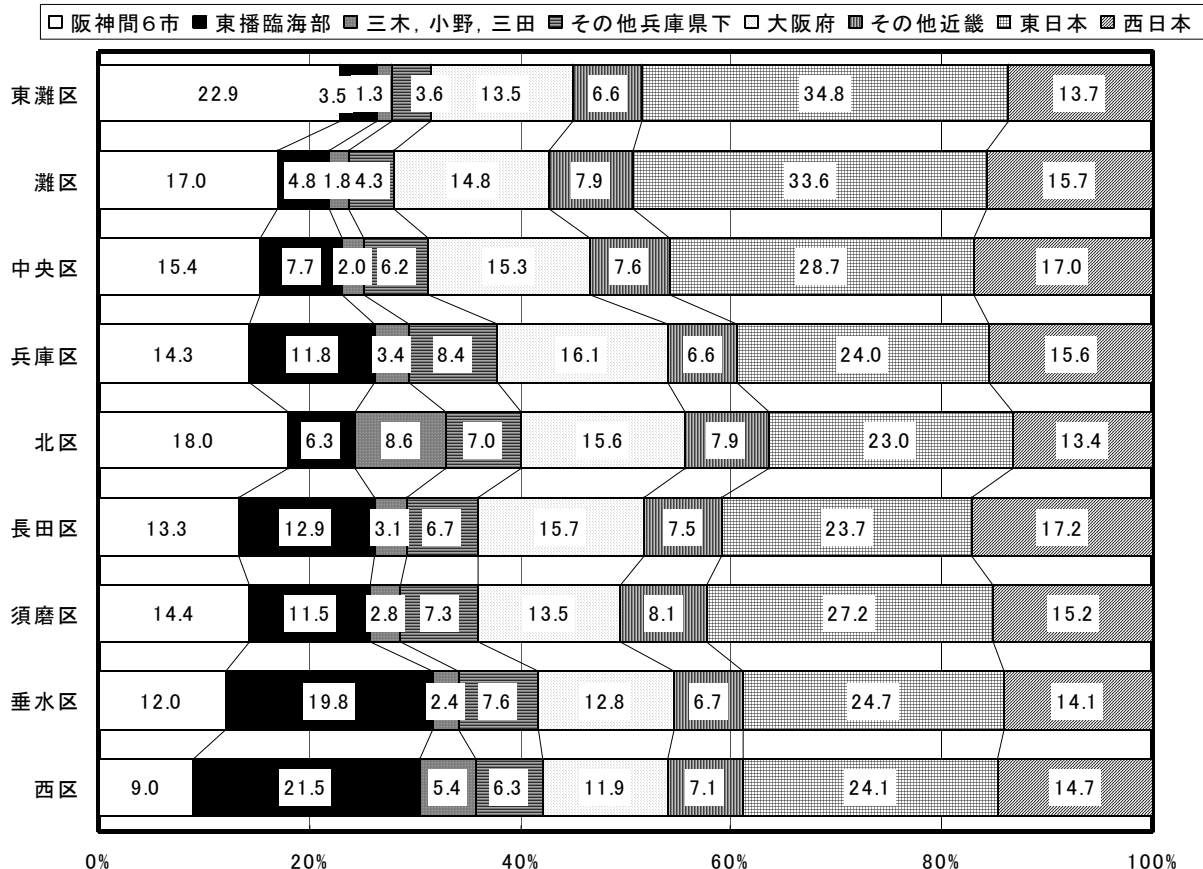
5年前の常住地	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	長田区	須磨区	垂水区	西区
総数	23,240	12,706	11,037	6,333	15,582	4,675	10,817	15,572	20,731
阪神間6市 a)	5,333	2,158	1,698	903	2,807	623	1,556	1,864	1,860
うち西宮市	2,260	1,004	787	390	1,341	264	711	911	829
東播臨海部 b)	815	615	848	749	989	601	1,239	3,081	4,464
うち明石市	527	387	499	463	635	400	835	2,144	3,324
三木、小野、三田	309	234	224	215	1,345	144	307	367	1,111
兵庫県下（近隣地以外）	847	541	689	529	1,095	315	795	1,188	1,305
大阪府	3,146	1,881	1,687	1,017	2,435	734	1,458	1,995	2,473
その他近畿	1,535	1,008	841	415	1,237	349	877	1,042	1,466
東日本	8,081	4,270	3,169	1,518	3,587	1,106	2,944	3,840	5,003
西日本	3,174	1,999	1,881	987	2,087	803	1,641	2,195	3,049

a) 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市

b) 明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

国外への転出を除く。

図11 区別転出者の相手地域別割合（平成22年）



注) 国外への転出は除く。

#### (4) 区間移動の状況

##### 西区への転入者が最も多い

市内他区からの転入の状況を見ると、西区が最も多く、須磨区、垂水区、灘区、中央区、北区、東灘区、兵庫区、長田区と続いている。

市内他区からの転入について、その移動状況を見れば、隣接する区からの転入者が多い。自区内での移動が多いことも考え合わせると、近場での移動が多いことがわかる。

表10 区別区間移動人口（平成22年）

区	他区からの転入									
	総数	東灘区 から	灘区 から	中央区 から	兵庫区 から	北区 から	長田区 から	須磨区 から	垂水区 から	西区 から
東灘区	7,212	—	2,253	1,135	494	780	303	693	795	759
灘区	7,993	2,556	—	1,933	573	792	334	581	650	574
中央区	7,747	1,168	1,546	—	1,157	963	485	756	844	828
兵庫区	6,973	439	454	1,452	—	910	1,487	876	776	579
北区	7,289	992	823	986	956	—	750	922	907	953
長田区	6,041	283	304	515	1,439	612	—	1,711	679	498
須磨区	9,011	556	524	730	998	871	1,833	—	2,112	1,387
垂水区	8,688	767	688	726	803	700	685	2,085	—	2,234
西区	10,232	596	483	598	681	1,091	687	2,465	3,631	—

(担当：上野 内線2328)